

時を得て - 「なるふ」・出会いから母港へ -

神奈川は葉山・鑑摺で知合いの船に合流、すでにして20年余、これまではデイセーリング程度、リタイア後は一人気ままにクルーズと、夢あるものの準備無く、そんなところに、つまらん経緯のちょっと早めの独立圧力。

勢いで、シングルで扱える船の物色を始めたら「舵」に見かけない中古艇が・・・、ヤマハ29・センターコクピット、30年超の大年増、しかも係留は大阪、でも興味深い、乗ってみたい船、邂逅の始まり、船との出会い。

田尻にて青木さんに面談、人との出会いの始まり。太っちょで少し特異な船を見て、試走もできないのに、またまた勢いでほぼ即決。

ほぼというのは資金面、改装と回航前提の整備は結構な投資、妻の出資仰ぐ為、家族のイニシャル組み合わせ船名を「なるふ (NARFU)」に。

懸案の係留先、青木さん紹介の山口さんにお世話いただき、千葉館山近くの富浦に、これも幸運な出会いのなかで解決。これが5月。

以後は改装整備の進捗を睨み、田尻通いの深夜バス。

7月の下架前からは毎週通って回航準備。鍋釜包丁トイレトペーパー生活用具、工具やロープ、メンテ資材備品水燃料のポリタンク、ついにはホームセンター・コーナン通いの自転車、家では海図港湾案内無線機購入、航海計画と回航準備を本格化。

予定1週間遅れの下架、やっと試走、機関騒音大は3GMのせいでもなさそう。

帆走は太目のわりには良く上りOK、アイドリングで機関瞬停。リモコンと噴射ノズル調整。清水の水漏れ在り、点検整備依頼。回航まであと2週間。

瞬停調整チェックの機走着岸後不審な水音、交換済みのグランドパッキンから噴水、船を吊り上げパッキンサイズアップ再交換。これが1週間前。

以下はログブックから。

・7/29(木): 回航前々日、土壇場の手直し

グランドパッキン再交換様子見の機走、ブーンという異音ありオートビルジの駆動音。スタンチューブ船体接続部のゴムホースほぼ脱落、大噴水。締付けクランプサイズアップと引っ張り針金を追加補強。

・7/30(金): 回航前日、トラブルシューティングするも不安

回航に同行指導いただく工藤さん合流。

燃料補給(ポリタン5本、船内タンク25ℓ、計115ℓ)

買出し等にイタルさんの通勤自転車強引に借用、イタルさんに感謝。

・Leg1: 7/31(土) 田尻~阿尾、約40nm、8hrs 想定。機走/機帆走

イルカたち遊泳、送別? @阿尾、吉村さんとミーティング

0400 起床、氷等調達、加太瀬戸の転潮前通過にむけ 0440 出港。
0600 阪南淡輪、濃霧プレジャーボート多数、フォッグホーン吹鳴。
1100 イルカたち遊びまわる（由良白崎沖）タイミング遅れほとんど写らず
1230 阿尾 1245 槍付け、指示あり移動、直後、青木ヨットスクール艇「Eagle」
入港。吉村さんミーティング、田尻無事到着報告。

- Leg2 : 8 / 1 (日) 阿尾 ~ 串本、約 60nm、12hrs.想定。機走 / 機帆走
日御碕、潮岬越え。うねり大も風良し。最大対地速力 7 Knt.!!!
0300 起床 0345 出港、0430 日御碕沖、1300 潮岬沖
1400 串本入港、サイドアンカー横付け、給油、串本温泉、夕食

- Leg3 : 8 / 2 (月) : 串本 ~ (九木) 尾鷲、約 50 55nm、11hrs.想定。機走 / 機帆走
平穏、那智滝見えず、宴。平均速力 5.5~6.5Knt.
0300 起床、氷等購入、0350 出港、Leg 後半支援の田中さんに状況報告
1215 九木沖到達予定より早く、工藤さん知合いのいる尾鷲に寄港地変更
1400 尾鷲着岸、風呂 ~ 散策 ~ 工藤さん知合いの店 (2 軒) 顔見せ、宴

- Leg4 : 8 / 3 (火) 尾鷲 ~ 今浦、約 55nm、11hrs.想定。機走 / 機帆走
御座周辺ワンポン、大王崎越え、田中さん合流、回航前半無事終了、宴
0300 起床 0350 出港、黒潮反流避け陸寄り航走、
1400 今浦着岸、田中さんの出迎えを受ける、
回航前半終了の息抜きと要員交代引継ぎに民宿投宿。
後半の航海計画レビュー、昼航「福田」から夜航「三崎」に変更、
宴、久びさに畳に寝る。お付き合いいただいた工藤さんに感謝。

- Leg5 : 今浦 ~ 三崎、約 165nm、33hrs.想定、機走 / 機帆走。
8 / 4 (水) 出港前倒し、緊張の本船航路並走、綺麗なミルキーウェイ
1000 工藤さん友人の車で買出し。道々、出港予定前倒し相談、変更。
1200 出港、黒潮に乗る沖出し予定を沿岸 5nm に変更。
本船航路を並進、緊張のワッチ。夕立数度、晴れ間に美しい天の川。

8 / 5 (木) 2 重の虹の送別と日の出の歓迎に感動。潮、風良く最速記録、順調。
0100 御前崎灯光確認、0540 駿河湾中央、バウは綺麗な日の出、後ろを振り
返ると完全な半円形の虹、しかも 2 重で感動朝。0900 石廊崎。
0945 神子元先回頭、三崎ねらい。追い潮フルセール 6.5 ~ 7.5Knt (対地)
1300 大島元町沖、見慣れた風景のなか富士山と大室山が 2 重奏で歓迎。

1800 三崎入港、風呂と夕食、宴で最長 Leg 無事終了を祝う。
平均 5.6Knt、最大 9・3Knt は驚異的。各所連絡報告。

・ Leg6 : 三崎 ~ 富浦、約 12nm、2hrs 想定、機帆走

8 / 6 (金) 回航最終日、母港富浦へまっしぐら、SSE 5 ~ 6 m / s

0500 起床、0700 出港、0830 富浦新港に入港、「なるふ」係留海面確認

0900 岸壁横付け、1000 館山マリン山口さん来訪、翌日の係留段取り調整

1230 回航後半支援いただいた田中さん高速バス停に見送り。1300 漁協挨拶

もう無理か、回航先延ばしかとビクビクの綱渡りなれども、整備から何から面倒見ていただいた吉村さん、イタルさん、メカを一手に引き受けていただき直前まで心配していただいた宗本さん、いろいろご配慮いただいたスタッフの方々と、皆様のおかげで出港に漕ぎつけた次第。天候海況に恵まれたとはいえ、工藤さん田中さんの回航支援で予定より 1 日早い母港係留、私にとっての人生最大のプロジェクトは大成功。

イルカの送別、2 重の虹と日の出、富士山大室山 2 重奏の歓迎を受けた感動の余韻の中、回航を終えて思うのは、善き人良き船に出会えたのも、天候・海況・潮・風に恵まれ順調な航海ができたのも、予期せぬ始まりとは言え幸運なタイミングで事が始まったればこそ、まさに時を得たのだと。

これからが私と「なるふ」の新たな船出、と緊張の母港・富浦通いです。

2010.09.11

内田・記